【別紙様式　9】

＊課題番号	個 08-101

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22 年　4 月　1 日

日 本 大 学 総 長　殿

氏　　名　川戸　貴行　印

所属・資格　歯学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種 目	一般研究(個人研究) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

骨芽細胞の石灰化物形成と破骨細胞分化調節因子の発現に及ぼす酪酸の影響の解明

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
上遠野朋子，川戸貴行 他５名	第 60 回日本大学歯学会総会	酪酸は骨芽細胞の石灰化 nodule 形成と osteoprotegerin 発現を促進する	2008 年 5 月
上遠野朋子，田邊奈津子，川戸貴行　他２名	第128回日本歯科保存学会春季学術大会	酪酸は骨芽細胞による石灰化 nodule 形成と osteoprotegerin 発現を促進する	2008 年 6 月
Katono T, Kawato T 他５名	86th General Session & Exhibition of IADR	Butyrate stimulates mineralized nodule formation and osteoprotegerin expression by osteoblasts	2008 年 7 月
上遠野朋子，川戸貴行 他４名	第 17 回硬組織再生生物学会学術大会・総会	骨芽細胞による石灰化 nodule 形成，M-CSF および OPG の発現に及ぼす酪酸の影響	2008 年 8 月
Kawato T　他６名	30th ASBMR Annual Meeting	Butyrate stimulates mineralized nodule formation and osteoprotegerin expression by osteoblasts	2008 年 9 月
上遠野朋子，川戸貴行 他４名	第 21 回日本歯科医学会総会	酪酸は骨芽細胞による石灰化物形成を促進し破骨細胞の分化を抑制する	2008 年 11 月
飯田隆文，川戸貴行 他５名	平成 22 年口腔衛生関東地方研究会総会・学術大会	酪酸は骨芽細胞のシクロオキシゲナーゼ発現と PGE_2 産生を促進する	2010 年 3 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻･号	年月	出版社・発行所
Katono T, Kawato T 他６名	Sodium butyrate stimulates mineralized nodule formation and osteoprotegerin expression by human osteoblasts.	Vol. 53 No. 10	2008 年 10 月	Archives of Oral Biology

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　９】

＊課題番号	個 08-102

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　24　年　4　月　10　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　山崎 洋介　　山崎

所属・資格　歯学部解剖学教室第２講座・助教

下記のとおり提出いたします。

１　種　目	奨励研究 ／ (一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

２　研究課題

真皮間充織線維系の形成過程における lysyl oxidase 発現パターンの解析

３　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

４　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Yamazaki et al.	第 48 回米国細胞生物学会（San Francisco）	Temporospatial expression of lysyl oxidase in the presumptive dermis of chick limb bud	2008 年 12 月 16 日
山崎ら	第114回日本解剖学会全国学術集会（岡山）	鶏胚後肢芽の真皮予定域における lysyl oxidase の発現	2009 年 3 月 28 日
Yamazaki et al.	Yokosuka Science Festa 2009(Yokosuka)	Expression and localization of lysyl oxidase in the presumptive dermis of chick limb bud	2009 年 6 月 5 日

５　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Yamazaki et al.	Anatomia Histologia Embryologia / Development of collagen fibres and lysyl oxidase expression in the presumptive dermis of chick limb bud	41	2012年2月	

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　9】

＊課題番号	個 08-103

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成22年　3月31日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　津田啓方　印

所属・資格　歯学部・助教

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	奨励研究 ／ (一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究

注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

歯周病細菌由来物質の上皮浸潤に影響を及ぼす因子の探索―新規予防法開発に向けて―

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
H. TSUDA, K. OCHIAI, and K. OTSUKA	86th General Session & Exhibition of the IADR	Butyrate, a bacterial metabolite, induces apoptosis and autophagic cell death	April 3, 2009

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
H. Tsuda, K. Ochiai, N. Suzuki, K. Otsuka	Journal of Periodontal Research/Butyrate, a bacterial metabolite, induces apoptosis and autophagic cell death in gingival epithelial cells		Article first published online: 10 JUN 2010	Wiley-Blackwell

※ホームページ等での公開の（㊀・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

科学研究費補助金　若手研究(B)　2009-2010 総額:4160 千円

ヒストンアセチル化調節食品成分による歯周炎骨破壊予防法の開発

2010 年度:1430 千円 (直接経費:1100 千円, 間接経費:330 千円)

2009 年度:2730 千円 (直接経費:2100 千円, 間接経費:630 千円)

（他の研究への発展）

2010 年度　日本学術振興会　最先端・次世代研究開発支援プログラム　申請課題

機能性ペプチドを用いた選択的細胞内分子、細胞内侵入微生物抑制法の開発

（その他）

【別紙様式　９】

＊課題番号	個 08-104

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 3 日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　高見澤　俊樹　印

所属・資格　歯学部・助教

下記のとおり提出いたします。

１　種　目	奨励研究 ／ 一般研究(個人研究) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

２　研究課題

高強度フロアブルレジンの臼歯修復への応用

３　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

高見澤　俊樹

・研究分担者（役割分担）

４　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
山本　明，高見澤俊樹 他５名	52 回日本歯科理工学会	試作フロアブルレジンの初期重合挙動の観察	2008 年 9 月 20 日
高見澤俊樹 他７名	129 回日本歯科保存学会	コンポジットレジンの種類がセルフエッチシステムの歯質接着性に及ぼす影響	2008 年 11 月 6 日
色川敦士，高見澤俊樹 他６名	130 回日本歯科保存学会	光強度がフロアブルレジンの重合収縮に及ぼす影響	2009 年 6 月 11 日

５　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
高見澤　俊樹，他	日本歯科保存学雑誌/コンポジットレジンの種類がセルフエッチシステムの接着強さに及ぼす影響	52・2	2009年4月	

※ホームページ等での公開の（可）否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）
フロアブルレジンを用いた補修修復への応用に関する研究へ発展

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個08-105

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 5 月 29 日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　林　　誠　　㊞

所属・資格　歯学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

硬組織形成に関与する材料がヒト歯髄細胞に与える影響について

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　**(要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)**

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
M. Hayashi et al.	39th Annual Meeting of the AADR	Comparative Studies of P-CPC and Conventional Endodontic Cements on Mineralization	March 5, 2010

5　著書・雑誌論文　**(著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)**

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）否　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-107

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　３　月　３　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　太田（横田）　ルミ　　印

所属・資格　松戸歯学部・助手

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)） ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

象牙質組織形成と象牙芽細胞の集合と動きについての免疫組織化学的研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
太田（横田）ルミ，鈴木久仁博，新美寿英，小澤幸重	日大口腔科学／エナメル小柱の捻れや彎曲を生み出すエナメル芽細胞の免疫組織化学的検討	34巻3号	2008年12月	日本大学口腔科学会

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-108

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　3　月　20　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　成　田　貴　則　　印

所属・資格　松戸歯学部・助教

下記のとおり提出いたします。

1　種　目　（一般研究(個人研究)）／　一般研究(共同研究)　／　総合研究　　注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

マウスおよびラット唾液腺に発現する遺伝子の時間および空間的な発現マッピング

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Takanori Narita, Bing Qi, Mika Fukano, Miwako Matsuki-Fukushima, Masataka Murakami, and Hiroshi Sugiya	The Journal of Medical Investigation / Characterization of neurokinin A-evoked salivary secretion in the perfused rat submandibular gland.	Vol. 56 Supplement	2009年 12月	徳島大学医学部

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-109

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　３　月　８　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　谷　本　安　浩　　印

所属・資格　松戸歯学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

医学・工学技術の融合による HAp/collagen 複合体シートの創製

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Yasuhiro Tanimoto, Yo Shibata, Asuka Murakami, Takashi Miyazaki, Norihiro Nishiyama	Journal of Hard Tissue Biology / Effect of Varying HAP/TCP Ratios in Tape-cast Biphasic Calcium Phosphate Ceramics on Response *in vitro*	18・2	2009年 8月	The Hard Tissue Biology Network Association

※ホームページ等での公開の　(可)・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-110

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　３　月　１５　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　中　田　浩　史　　印

所属・資格　松戸歯学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

Micro FT-Raman および微小部 X 線回折による生体アパタイト結晶性の分析

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Hiroshi Nakada, Yasuko Numata, Toshiro Sakae, Yoshimitsu Okazaki, Kihei Kobayashi	再生補綴医学研究会（第１回学術会議）	Usefulness of implant-surrounding newly formed bone quality evaluation method using micro-CT	2008 年 11 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Yasuko Numata, Hiroshi Nakada, Toshiro Sakae, Hiromi imura-Suda, Racquel Z. LeGeros, Kihei Kobayashi And Masaharu Makimura	Journal of Hard Tissue Biology/ Assessments of the New Bone Quality Around Implants Using Microscopic FTIR and Polarizing Microscope	3	2008 年 11 月	The Hard Tissue Biology Network

※ホームページ等での公開の (可)・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　８】

＊課題番号	個 08-112

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　３　月　１０　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　飯田　崇　　印

所属・資格　松戸歯学部・助教

下記のとおり提出いたします。

１　種　目	（一般研究(個人研究)） ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

２　研究課題

fMRI を用いたクレンチングに関わる脳活動様相

３　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

４　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
飯田　崇	日本補綴歯科学会 （第 118 回学術大会）	fMRI を用いた歯の噛みしめと手指運動に関する脳賦活部位の比較	2009 年 6 月

５　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の （可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-113

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　３　月　１０　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　布施　恵　　印

所属・資格　松戸歯学部・講師(専任扱)

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

細胞接着タンパク質を固定化した生分解性材料の開発

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　(要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　(著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
布施　恵	ポリ乳酸 3 次元多孔体の作製に関する基礎的検討	35・1	2009 年 3 月	日本大学口腔科学会

※ホームページ等での公開の (可)・否)　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　８】

＊課題番号	個 08-114

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２４　年　５　月　２８　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　青木伸一郎　印

所属・資格　松戸歯学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)） ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

歯科治療がQOLに及ぼす影響についての基礎的研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

青木伸一郎

・研究分担者（役割分担）

なし

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
青木伸一郎、大沢聖子、長野裕行、伊藤孝訓	第 121 回日本補綴歯科学会学術大会	義歯のリハビリテーション効果に関する研究-第１報 装着直後と１ヶ月後について-	2012 年 5 月 26, 27 日

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８－１１５

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成２４年６月２８日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　岡本　康裕

所属・資格　松戸歯学部・　助教

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)）／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

顎関節症に対する理学療法効果の顎運動測定を用いた検討

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
酒井淳，岡本康裕，内田貴之，梶本真澄，伊藤孝訓	日本口腔日本口腔診断学会雑誌/クローズドロック症例に対するストレッチを目的としたマニピュレーションによる下顎運動の変化	25・2	2012年6月	日本口腔診断学会
内田貴之，岡本康裕，酒井淳，伊藤孝訓	日本口腔日本口腔診断学会雑誌/無症候ボランティアにおける左右側咬合接触状態の評価	25・2	2012年6月	日本口腔診断学会

※ホームページ等での公開の（可）否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-116

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22 年　4 月　23 日

日 本 大 学 総 長　殿

氏　　名　窪田　聡

所属・資格　生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種 目	一般研究(個人研究) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

植物生産における多孔質鉢による超節水・省力型給水システムの開発

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担　）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
窪田　聡ら	園芸学会	根域環境制御装置(RECS)を利用した冬季根域加温によるゼラニウムの生育と開花	2010 年 3 月
窪田　聡ら	園芸学会	根域環境制御装置（RECS）を利用した根域温度制御による鉢花の生育調節	2009 年 3 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

特許出願
容器に植えた植物の地下部環境制御装置及び地下部環境制御方法（特願 2008-245231）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-117

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　3　月　23　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　村田浩一　　印

所属・資格　生物資源科学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

琉球列島を水際とした保全医学のための外来病原微生物侵入モニタリング

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
江尻寛子・村田浩一ほか6名	第147回日本獣医学会学術集会	沖縄県西表島で採取された蚊における鳥マラリア原虫遺伝子の検出	2009年4月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Ejiri, H., Murata, K.ほか11名	Journal of Veterinary Medical Science /Detection of Avian Plasmodium spp. DNA sequences from mosquitoes captured in Minami Daito Island of Japan	70・11	2008年11月	The Japanese Society of Veterinary Science
村田浩一ほか4名	獣医寄生虫学会誌/沖縄県の湿地におけるシギ・チドリ類と蚊との関係および鳥マラリア原虫保有	7・2	2008年12月	獣医寄生虫学会
Tsuda, Y., Murata, K.ほか6名	Medical Entomology and Zoology/ Mosquito collections from coastal areas of Tokyo Bay receiving migratory birds	60・2	2009年6月	The Japan Society of Medical Entomology and Zoology
Tsuda, Y., Murata, K.ほか5名	Journal of the American Mosquito Control Association/ Ecological study of avian malaria vectors on the oceanic island of Minami-Daito, Japan	25・3	2009年9月	The American Mosquito Control Association, Inc.

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究 C）：吸血昆虫媒介性病原体の分布を指標とした環境モニタリングシステムの構築（分担者）
平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）：　固有種個体群の保全のための戦略的基盤研究、ルリカケスにおける挑戦（分担者）

（他の研究への発展）

平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）：トリマラリアは渡り鳥によって運ばれるのか？（申請中）へ発展

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-118

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　　3　月　5　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　梶　川　　博　　印

所属・資格　生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

バイオエタノール生産に伴う副産物の反芻家畜飼料としての利用に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
梶川博・柳瀬綾子・田邉由紀・土田侑・宮澤圭・三森真琴・竹中昭雄	日本畜産学会第110回大会	繊維成分含量がバイオエタノール製造粕（DDGS）のルーメン内消化性に及ぼす影響	2009年3月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８－１１９

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２年　３月　１０日

日　本　大　学　総　長　殿

氏　　名　松宮　政弘　印

所属・資格　生物資源科学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)）／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

海洋生物キチナーゼの構造と基質分解特性に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
松宮政弘、上田光宏、宮内浩二、田中苑美、有本美雪	日本キチン・キトサン学会、第23回キチン・キトサンシンポジウム	マサバ胃キチナーゼのcDNAクローニング	２００９．８
松宮政弘、伊藤伸也、池田　愛、宮内浩二	平成21年度日本水産学会秋季大会	マサバ胃およびシログチ胃キチナーゼの酵素反応特性	２００９．１０

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
M. Matsumiya, K. Shirota, M. Ikeda, Y. Arakane, S. Muthukrishnan, and K. J. Kramer	The proceedings of the 5th World Fisheries Congress / Physiological Roles and Substrate Specificities of Chitinases from Fish, Insect and Seaweed. /	3g. Chemical and Biochemical Studies on Marine Natural Products	2009.2	The 5th WFC Organizing Comittee
M. Ikeda, I. Yamamoto, K. Miyauchi, A. Mochizuki, and M. Matsumiya	The proceedings of the 5th World Fisheries Congress / Analysis of Cleavage Patterns and Anomeric Formation in the Hydrolytic Reaction of N-acetylchitooligosaccharide by Chitinases from the Stomach of White Croaker, *Pennahia argentata*, and Threeline Grunt, *Parapristipoma trilineatum*.	3g. Chemical and Biochemical Studies on Marine Natural Products	2009.2	The 5th WFC Organizing Comittee
M. Ikeda, K. Miyauchi, A. Mochizuki, and M. Matsumiya	Purification and Characterization of Chitinase from the Stomach of Silver Croaker *Pennahia argentatus*, / *Protein Expression and Purification*,	65(2)	2009.6	Elsevier

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

［成果物８－２］

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-120

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　4月　23日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　小島隆人

所属・資格　生物資源科学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目　（一般研究(個人研究)）／　一般研究(共同研究)　／　総合研究　　注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

定置網漁業支援のための沿岸回遊魚の動向予測システム開発

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者　小島隆人

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
T. Kojima, Y. Sugiyama, A. Mishuku, M. Hasegawa, T. Taniuchi, T. Matsuoka	5th World Fisheries Conference	Discards and forecasting technique using catch trend time series of set-nets located off the Izu Peninsula Japan	2008年10月
小島隆人, 谷内透, 落合亮仁, 山崎慎太郎, E. P. Villoso, 安樂和彦, 松岡達朗	平成21年度日本水産学会秋季大会	延縄の振動記録から推定される針掛りした魚が発揮する運動能力	2009年9月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
T. Kojima, Y. Sugiyama, A. Mishiku, M. Hasegawa, T. Taniuchi, T. Matsuoka	Discards and catch forecasting technique using a catch trend time series of set-net off the Izu Peninsula, Japan	Proceedings of the World Fisheries Congress 2008	2008　年 10月	日本水産学会
Y. Makiguchi, S. Nagata, T, Kojima, M. Ichimura, Y. Konno, H. Murata, H. Ueda	pLOS one/ Cardiac arrest during gamete release in chum salmon regulated by the parasympathetic nerve system	Vol. 4, issue 6	2009年6月	pLOS one org.

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　８】

＊課題番号	個０８－１２１

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　　２２年　　４月　　５日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　佐藤　喜和　　印

所属・資格　生物資源科学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)） ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

ヒグマの生息地適性からみた手入れの異なる人工林の比較

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
佐藤喜和	日本大学生物資源科学部 平成 21 年度学術講演会	ヒグマの生息地適性からみた手入れの異なる人工林の比較	平成 21 年 12 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
佐藤喜和・中村秀次	浦幌町立博物館紀要／カラマツ人工林におけるヒグマの生息地適性	10	2010年3月	浦幌町立博物館

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個　０８－１２２

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　　２２年　　４月　２３日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　　糸　長　浩　司　　印

所属・資格　　生物資源科学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)）／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

ストローベイル住宅における室内壁内環境、断熱性能評価に関する研究

3　研究組織

・研究代表者

糸長浩司

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Kyle Holzhueter, Koji Itonaga	日本建築学会	Using an Isopleth Model to Predict Mold Growth in a Straw Bale Wall in Japan	２００９年９月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Kyle Holzhueter, Koji Itonaga	環境情報科学論文集／Evaluation of the Thermal Performance and Moisture Damage of a Straw Bale Building in Japan	２３号	2009 年 11 月	環境情報科学センター

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-123

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 8 日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　鈴木　哲也　　印

所属・資格　生物資源科学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目　[一般研究(個人研究)] ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究　　注:該当する種目を〇で囲んでください。

2　研究課題

生物環境資源の保全・創出を考慮した構造物撤去・再生法の開発

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
鈴木哲也	農業農村工学会	AU 法を用いた構造体コンクリートの非破壊物性評価に関する研究	2009 年 8 月
Tetsuya Suzuki, Masao Aoki and Masayasu Ohtsu	Japan Concrete Institute	EVALUATION OF SPATIAL DAMAGE DISTRIBUTION IN STRUCTURAL CONCRETE BY SEMI - VARIOGRAM ANALYSIS	2009 年 8 月
Tetsuya Suzuki, Hidehiko Ogata, Ryuichi Takada, Masao Aoki and Masayasu Ohtsu	The 5rd Kumamoto International Workshop on Fracture, Acoustic Emission and NDE in Concrete	Use of Acoustic Emission and X-Ray Computed Tomography for Damage Evaluation of Freeze-Thawed Concrete	2009 年 9 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
鈴木哲也，奥津広太，青木正雄，大津政康	コンクリート工学協会年次論文集/コンクリート損傷度評価へ及ぼす空隙特性の影響に関する研究	31 巻 1 号	2009 年 7 月	コンクリート工学協会
鈴木哲也，青木正雄	コンクリート構造物の非破壊検査論文集/赤外線画像を用いたコンクリート損傷の空間分布特性評価に関する研究	3 巻	2009 年 8 月	非破壊検査協会
Aoki, M., Suzuki, T.	Journal of Agricultural Development Studies/ Evaluation of Spatial Damage in Service Concrete Structure by Semi-Variogram Analysis	19 巻 3 号	2009 年 3 月	日本国際地域開発学会
鈴木哲也，中達雄，樽屋啓之，田中良和，青木正雄	構造工学論文集/AE 法を用いたオープン型パイプラインに発生する気液二相流の特性評価	56 巻 A 号	2010 年 3 月	土木学会
鈴木哲也，緒方英彦，高田龍一，佐藤周之	セメント・コンクリート論集/凍結融解損傷が進行したコンクリートの材質評価	63 巻	2009 年 3 月	セメント協会

※ホームページ等での公開の（[可]・否）　いずれかを〇で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

平成 21 年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業
「農業水利施設のストックマネジメント高度化技術の開発」（平成 21 年度～23 年度）採択

（他の研究への発展）

RILEM（国際材料試験学会）テクニカル委員会 TC-MCM に開発手法が採択される。

（その他）

神奈川県と連携事業として神奈川県公式ホームページに日本大学名で掲載される。

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-124

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　4　月　19 日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　中　川　　達　　功　　印

所属・資格　生物資源科学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

土壌性アンモニア酸化アーキアの分布および培養に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
中川、仲谷、小野寺、相澤、佐藤、高橋、徳山	日本土壌肥料学会2009年度京都大会	タイ王国酸性硫酸塩土壌の土壌 pH とアンモニア酸化性アーキアとバクテリアと硝化作用の関係.	2009 年 9 月
小野寺、山川、中川、高橋、徳山	日本土壌肥料学会2009年度京都大会	森林土壌におけるアンモニア酸化性アーキアおよびバクテリアの垂直分布とアンモニア酸化能	2009 年 9 月
藤井、中川、笹田、高橋、徳山	日本土壌肥料学会2009年度京都大会	水田土壌におけるアンモニア酸化性アーキアおよびバクテリア存在量の季節的遷移	2009 年 9 月
小野寺、山川、中川、高橋、徳山	第25回日本微生物生態学会大会	森林土壌におけるアンモニア酸化性アーキアおよびバクテリアの垂直分布とアンモニア酸化	2009 年 11 月
藤井、中川、笹田、高橋、徳山	第25回日本微生物生態学会大会	水田土壌におけるアンモニア酸化性アーキアおよびバクテリア存在量の季節的遷移	2009 年 11 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Nakaya, Onodera, Nakagawa, et al	Microbes and Environments ／ Analysis of Ammonia Monooxygenase and Archaeal 16S rRNA Gene Fragments in Nitrifying Acid-Sulfate Soil Microcosms	24・2	2009年6月	Japanese Societies of Microbial Ecology and Soil Microbilogy
Onodera, Nakagawa, et al	Microbes and Environments ／ Seasonal Change in Vertical Distribution of Ammonia-Oxidizing Archaea and Bacteria and Their Nitrification in Temperate Forest Soil	25・1	2010年3月	Japanese Societies of Microbial Ecology and Soil Microbilogy

※ホームページ等での公開の (可)・否)　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日
なし		

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

平成 21 年　科学研究費補助-金若手研究（B）を採択

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８−１２５

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　　２２年　　４月　２３日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　新　井　直　人　　印

所属・資格　生物資源科学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

出芽酵母の遺伝子相同組換えに関与する蛋白複合体の解析

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
新井直人，香川亘，横山茂之，胡桃坂仁志，柴田武彦	日本分子生物学会 日本生化学会合同年会	出芽酵母 Rad52-Rad51 複合体による D-loop 形成における Rad52 の二本鎖 DNA への結合の影響	2008 年 12 月
柴田武彦、新井直人、他６名	日本生化学会	相同 DNA 組換えにおける天然変性領域の機能	2009 年 10 月
新井直人、香川亘、美川務、胡桃坂仁志、柴田武彦	日本分子生物学会	出芽酵母 Rad52-Rad51 複合体による D-loop 形成において Rad52 は二本鎖 DNA の結合に働く	2009 年 12 月
柴田 武彦 、新井 直人 他６名	第 27 回染色体ワークショップ	相同 DNA 組換えにおける 2 種の相同 DNA 対合蛋白質の役割分担	2010 年 1 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

［成果物８－２］

6　その他の発表

新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　**（下記のような成果があれば記入してください。）**

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　８】

＊課題番号	個０８－１２６

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成２２年　　３月　２４日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　宮　部　和　幸　　印

所属・資格　生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

日中の食文化の生成と融合化に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
宮部　和幸	食品経済研究／日中の食文化融合とその普及に関する試論的考察－味噌・醤油・豆腐の伝来	38 号	2010　年 3 月	日本大学生物資源科学部　食品経済
	に着目して－			学科

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-127

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　　２２年　　４月　１２日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　山　谷　吉　樹

所属・資格　生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)） ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

犬の気管支肺胞洗浄液中における気道炎症バイオマーカーに関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Yoshiki YAMAYA	26th Annual Symposium of the Veterinary Comparative Respiratory Society	Elevations of Canine Pulmonary Surfactant Protein A in Bronchoalveolar Lavage Fluid and Serum in Dogs with Bronchopulmonary Diseases	平成 20 年 10 月
山谷　吉樹	平成２１年度日本獣医師会学会年次大会（宮崎）	気管支肺疾患犬における気管支肺胞洗浄液ならびに血清中のイヌ肺サーファクタントプロテインＡ（SP-A）濃度について	平成 22 年 1 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個08-128

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　4　月　15 日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　北川　勝人　　印

所属・資格　生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

小動物脊髄手術中モニター法に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
北川　勝人	平成２１年度日本大学生物資源科学部学術講演会	小動物脊髄手術中モニター法に関する研究	平成２１年１２月
北川　勝人	第７７回獣医麻酔外科学会	外科摘出術を行った脳幹近傍腫瘍の４症例	平成２０年１２月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Okada M, Kitagawa M et al	Journal of veterinary medicine science/Magnetic resonance imaging and computed tomography findings of vertebral osteosarcoma in a cat.	71, 4	2009. 7	日本獣医学会
Kitagawa M, Okada M, et al	Journal of veterinary medicine science/Ocular granulomatous meningoencephalomyelitis in a dog: magnetic resonance images and clinical findings.	71, 2	2009. 2	日本獣医学会
Okada M, Kitagawa M et al	Journal of veterinary medicine science/ MRI of secondary cervical syringomyelia in four cats.	71, 8	2009. 8	日本獣医学会

※ホームページ等での公開の ((可)・否)　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

技術提供

科学研究費補助金・若手Ｂ

研究者：伊藤大介

タイトル：犬脊髄損傷例に対する嗅神経鞘細胞自家移植による脊髄再生療法の臨床治験

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８－１２９

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　４　月　２９　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　小堂　俊孝　　印

所属・資格　生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

名詞句の解釈位置と数量詞繰り下げに関する考察

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
KODOH, Toshitaka	"On Positions of Argument DP Interpreted at LF," 『湘南英文学』	4	2009, 8	湘南英文学会

※ホームページ等での公開の (可)・否)　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08−130

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成２２年３月２３日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　光澤　浩

所属・資格　短期大学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)） ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

酵母の窒素源シグナル伝達系におけるアンモニウムトランスポーターの役割

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
光澤　浩	第４回トランスポーター研究会	酵母の窒素源シグナル伝達におけるアンモニウムトランスポーターの役割	２００９年　５月
○光澤　浩，佐藤琢磨，白石まり子，高橋秀夫	酵母遺伝学フォーラム第４２回研究報告会	酵母の形態分化誘導におけるアンモニウムトランスポーターの役割	２００９年　７月
光澤　浩	第５回分裂酵母国際会議	ROLE OF AMMONIUM TRANSPORTER IN MORPHOLOGICAL TRANSITION OF FISSION YEAST	２００９年１０月
○光澤　浩，佐藤琢磨，白石まり子，高橋秀夫	第３２回日本分子生物学会年会	酵母の形態分化誘導におけるアンモニウムトランスポーターの役割	２００９年１２月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

本研究の成果をもとにして、酵母アンモニウムトランスポーターの相互作用因子の単離・同定を試みる研究計画を、「窒素源欠乏の感知におけるアンモニウムトランスポーターの役割」として、平成２２年度科学研究費補助金基盤研究（C）に応募した（申請中）。

本研究の成果を発展させ、細菌におけるアンモニウムトランスポーターの生理機能の解明を目指す研究計画を、「植物と細菌の共生系におけるアンモニウム輸送の役割：アルミニウム耐性菌のアンモニウムトランスポーターの解析」として、タカノ農芸化学研究助成財団の平成２２年度研究助成に応募した（申請中）。

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-131

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22年　4月　22日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　飯島　洋　　印

所属・資格　薬学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

カテコール O-メチル転移酵素活性化物質の探索と活性化機構の研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
飯島洋 他	日本薬学会第 130 年会	腎機能障害モデル動物におけるノルアドレナリンの代謝能力	2010/03/30
飯島洋 他	日本薬学会第 130 年会	組換えヒト S-COMT を用いた化合物スクリーニング系の構築	2010/03/29

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日
なし		

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量
なし			

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

なし

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式８】

＊課題番号	個 08-132

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　４　月　１２　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　草　間　國　子　　印

所属・資格　薬学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

神経障害の発現に及ぼすストレスの影響に関する基礎的解析

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
草間國子、山崎嘉子、池上文雄、F. Lambein、草間貞	Workshop on Toxico-Neuto-ritional Neurodegenerations (Ghent, Belgium)	An improved neurolathyrism rat model: impaired VEGF system have a critical role in the degeneration of motor neurons	2009年9月22日
吉野菜月、箕浦　愛、池上文雄、渡辺和子、草間貞、草間國子	Workshop on Toxico-Neuto-ritional Neurodegenerations (Ghent, Belgium)	Mechanism of oxidative stress by L-β-ODAP to Motor Neurons in Relation to Neurolathyrism Role of Methionine Deficiency	2009年9月22日

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Kusama-Eguchi, K. 他9名	J. Comp. Neurol. /Hind-Limb paraparesis in a rat model for neurolathyrism associated with apoptosis and an impaired vascular endothelial growth factor system in the spinal cord	518(6)	2010.3	Wiley-Blackwell

※ホームページ等での公開の（可）・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）
なし

（外部資金の獲得）
なし

（他の研究への発展）
なし

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８－１３３

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２年　４月　２日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　小　林　　秀　昭　　印

所属・資格　薬学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	（一般研究(個人研究)）　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

チャバネアオカメムシ共生菌と腸内細菌 *S. typhimurium* のゲノム比較

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
小林秀昭、竹石桂一、野田博明	第82回日本生化学会大会	チャバネアオカメムシ共生菌におけるリポポリサッカリドの大腸菌等との比較解析	平成21年10月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）
なし

（外部資金の獲得）
なし

（他の研究への発展）
なし

（その他）
なし

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-134

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　4　月　16　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　泉澤　恵　　印

所属・資格　薬学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

OTC 医薬品の labelling に関する調査研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
泉澤 恵、その他４名	第 29 回日本臨床薬理学会年会	一般用医薬品のリスク分類表示に関するアンケート	2008 年 12 月
崔　庭瑞、泉澤 恵 その他４名	日本心理学会第 73 回大会	OTC 医薬品外箱表示に対する消費者の注目度	2009 年 8 月
崔　庭瑞、泉澤 恵 その他４名	第 12 回日本医薬品情報学会	OTC 医薬品外箱記載情報に対する注目度の評価－かぜ薬とビタミン剤の比較－	2009 年 7 月
高　キハン、泉澤 恵 その他４名	第 11 回日本感性工学会大会	OTC 医薬品のリスク分類が外箱記載情報に対する注目度に与える影響	2009 年 9 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）
なし

（外部資金の獲得）
なし

（他の研究への発展）
なし

（その他）
なし

【別紙様式　8】

＊課題番号	個08-135

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　4月　　1日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　濃　沼　政　美　　印

所属・資格　薬学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

統計的品質管理(Statistical Quality Control)の活用による薬物療法の質向上を目的とした研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
中島博史,濃沼政美,小池勝也,荒川基記,葛谷和義,中村均	日本薬学会 129 年会	統計的品質管理（ＳＱＣ）手法の医療分野への活用に関する検討	平成 21 年 3 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可)・否)　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）
なし

（外部資金の獲得）
なし

（他の研究への発展）
なし

（その他）
なし

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-136

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　4　月　23　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　鈴　木　豊　史　　印

所属・資格　薬学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

一過性脳虚血障害による血液脳関門破綻の蛍光イメージング

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
宮﨑由美子，鈴木豊史，他４名	第 52 回日本薬学会関東支部大会（東理大薬）	フェニルアラニンの血液脳関門輸送に及ぼす脳虚血/再灌流の影響	平成 20 年 10 月 4 日
Toyofumi Suzuki, Yumiko Miyazaki, et al.	23rd Annual Meeting of the Japanese Society for the Study of Xenobiotics (JSSX)	Characterization of L-Phenylalanine Transport at the Blood-Brain Barrier in the Ischemia-Reperfusion Model of Mouse Brain	平成 20 年 10 月 30 日
宮﨑由美子，鈴木豊史，他４名	日本薬学会第 129 年会（京都）	L-フェニルアラニンの血液脳関門取り込み輸送に及ぼす虚血-再灌流の影響	平成 21 年 3 月 28 日
鈴木豊史，宮﨑由美子，他４名	日本薬剤学会第 24 年会（静岡）	脳虚血−再灌流による血液脳関門破綻の進行と L-フェニルアラニン輸送に及ぼす影響	平成 21 年 5 月 23 日

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Toyofumi Suzuki, Aya Ohmuro, Mariko Miyata, Takayuki Furuishi, Shinji Hidaka, Fumihiko Kugawa, Toshiro Fukami, Kazuo Tomono	Involvement of an Influx Transporter in the Blood-Brain Barrier Transport of Naloxone		in press	Biopharmaceutics Drug Disposition

※ホームページ等での公開の（◎・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

な　し

（外部資金の獲得）

な　し

（他の研究への発展）

な　し

（その他）

な　し

【別紙様式　８】

＊課題番号	個 08-137

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　４　月　２６　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　青山　隆彦　　印

所属・資格　薬学部・助教

下記のとおり提出いたします。

１　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

２　研究課題

母集団薬物動態解析による集中治療領域における抗真菌薬投与計画の個別化基盤研究

３　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者　青山隆彦

・研究分担者（役割分担）

４　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
青山隆彦，平田清貴，平田理恵，　他４名	第２６回日本 TDM 学会・学術大会	集中治療患者におけるホスフルコナゾールおよびフルコナゾールの母集団薬物動態解析	2009 年 6 月

５　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）
なし。

（外部資金の獲得）
なし。

（他の研究への発展）
なし。

（その他）
なし。

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８－１３８

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　　３月　３１日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　　根　本　晋　一　　㊞

所属・資格　　通信教育部　准教授

下記のとおり提出いたします。

１　種　目	(一般研究(個人研究)) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

２　研究課題

契約法と損害賠償法の現状と課題に関する研究

３　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

４　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
根本　晋一	企業法学会 第32回定時総会・研究報告会　個別報告	医師が患者の頭蓋内に遺残した割箸片を看過した過失を否定した事例 ―杏林大学病院頭蓋内割箸片看過男児死亡事件(棉飴割箸事件)に関する請求棄却判決の評価(東地民28判平成20年2月12日・判例集未登載)	2008年7月 キャンパスイノベーションセンター山形大学東京サテライト

５　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
根本　晋一	横浜国際経済法学／患者が転倒による割箸刺入に起因する頭蓋内損傷により死亡した症例につき、医師が患者の頭蓋内に遺残していた割箸片を看過した過失を否定した事例 (前編)―杏林大学病院頭蓋内割箸片看過男児死亡事件(綿飴割箸事件)に関する請求棄却判決の評価―(東地民28判平成20年2月12日・控訴・判例集未登載)	第17巻 第2号	2009年1月	横浜国立大学
根本　晋一	日本大学歯学部紀要／国の行為に起因する国民の健康被害救済制度の研究―予防接種禍事故をめぐる損害賠償と損失補償の間隙に関する諸問題―	第36号	2009年1月	日本大学歯学部
根本　晋一	横浜国際経済法学 久留島隆先生・三邊夏雄先生・森川俊孝先生退官記念号／患者が転倒による割箸刺入に起因する頭蓋内損傷により死亡した症例につき、医師が患者の頭蓋内に遺残していた割箸片を看過した過失を否定した事例 (後編)―杏林大学病院頭蓋内割箸片看過男児死亡事件(綿飴割箸事件)に関する請求棄却判決の評価―(東地民28判平成20年2月12日・控訴・判例集未登載)	第17巻 第3号	2009年3月	横浜国立大学
根本　晋一　他	企業法学／医事紛争解決手段の研究―医療事故における事案の解明と補償・賠償のスキームに関する一考察―	第11巻	2009年3月	商事法務研究会
後藤光男(早大教授) 編著 根本　晋一　共著	「人権保障と行政救済法」所収論文 損害賠償制度と損失補償制度の間隙と国の法的責任―予防接種禍の救済方法に関する法律構成の検討―		2009年12月	成文堂

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個０８－１３９

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　　４　月　２　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　古賀　徹

所属・資格　通信教育部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究

注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

戦後教育改革（刷新）構想に関する審議会議事録の分析

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻･号	年月	出版社・発行所
古賀　徹	『研究紀要』／「教育改革のための〈合意〉形成の場としての「審議会」」	第23号	平成22年3月	日本大学通信教育部通信教育研究所

※ホームページ等での公開の（可）否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

本研究は、筆者がこれまで加わってきた審議会資料研究の成果としての『教育刷新委員会／教育刷新審議会会議録』【改訂増補版】第１巻～第 13 巻（日本近代教育史料研究会編、岩波書店、2005 年～2007 年）の後継にあたる研究と位置付けている。なお、本研究で使用した資料を分析し改稿を重ねたものを、『日本近代教育史料大系（公文記録）』第 21 巻～第 35 巻（龍渓書舎）として刊行する準備作業もすすめている。（日本近代教育資料研究会編。代表：米田俊彦・お茶の水女子大大学院教授のもと、編集委員４人での刊行を予定し準備中。刊行スケジュールの詳細は未定）。

（その他）

【別紙様式　８】

＊課題番号	個０８－１４０

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２年　３月　３１日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　菅澤　喜男　印

所属・資格　グローバル・ビジネス研究科・教授

下記のとおり提出いたします。

１　種　目	（一般研究(個人研究)）／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

２　研究課題

米国 NPO 法人 SCIP 組織と研究成果普及活動に関する調査研究

３　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

４　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

５　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
菅澤　喜男（共著）	技術マーケティングとインテリジェンス		平成22年3月	コロナ社
共著者：岡村　亮				

※ホームページ等での公開の（㊀・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）
本研究を通じて、文部科学省科学研究費補助金への基盤研究・総合領域「グローバル市場における競争構造と企業のインテリジェンス利活用」につき外部資金獲得のための申請に結びついている。

（他の研究への発展）
米国のＮＰＯ法人であるＳＣＩＰは、世界10カ国以上にまたがり約４０００名の会員を擁し意欲的な活動をしており、現在、インテリジェンス研究のひとつの中心的な話題として「ウオーゲーム」があり、将来的な研究課題としてＳＣＩＰとの連携が考えられる。

（その他）
本研究の成果は、平成22年3月に出版された「技術マーケティングとインテリジェンス」１１７ページにＳＣＩＰの活動内容が紹介されている。

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-141

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 8 日

日本大学総長　殿

氏　　名 [illegible] 印

所属・資格 大学院総合社会情報研究科 教授

下記のとおり提出いたします。

1　種目	一般研究(個人研究) ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

C.S.ルイス研究の動向調査及びルイスの書簡の予備的研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
[illegible]	聖学院大学総合研究所紀要	44	2009.3.30	聖学院大学総合研究所

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-142

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２年　５月　１３日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　茂呂　　周

所属・資格　日本大学大学院・総合科学研究科

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	~~一般研究(個人研究)~~ ／ 一般研究(共同研究) ／ 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

Double strand RNA 刺激による innate immunity の誘導

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・　研究代表者

茂呂周

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
尾曲大輔、砂川恵伸、浅野正岳、茂呂周、小宮山一雄	日本消化器免疫学会	マウス多量体免疫グロブリンレセプター特異的モノクローナル抗体によるＤＳＳ誘発腸炎への検討	平成２１年７月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻･号	年月	出版社・発行所
Omagari D, Iijima M, Suguro H, Sato I, Asano M, Moro I.	Clinical and Experimental Immunology/ Poly I:C induced expression of intercellular adhesion molecule-1 in intestinal epithelial cells.	156 巻	2009 年, 3 月	Wiley-Blachwell
Omagari D, Mikami Y, Suguro H, Sunagawa K, Asano M, Sanuki E, Moro I, Komiyama K.	Scandinavian Journal of Immunology/ Differential distribution of mouse polymeric immunoglobulin receptor: Establishment of enzyme-linked immunosorbent assay system for mpIgR.	68 巻	2008 年, 3 月	Wiley-Blachwell

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

本研究と関連して作製したマウス polymeric immunoglobulin receptor に対する抗体は、NUBIC を通じて、特許出願中である。

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

＊課題番号	個 08-143

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22 年　4 月　9 日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　野呂　知加子

所属・資格　生産工学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	一般研究(個人研究)　／　一般研究(共同研究)　／　総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

ヤマトヒメミミズ再生・生殖系を活用した環境バイオセンサーシステム開発

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Chikako Yoshida-Noro, et.al,	日本発生生物学会第42回大会	Stem Cell System and Environmental Response in E.japonensis.	May 2009
Chikako Yoshida-Noro, Makoto Takeo, Mutsumi Sugio, Shishin Kawamoto, Shin Tochinai	16th International Congress of Developmental Biology, Edinburgh, UK	Stem cell system in sexual and asexual reproduction of Enchytraeus japonensis (Oligochaeta, Annelida)	Sep 2009 Mech.Dev.126.S284(2009)
Chikako Yoshida-Noro, Makoro Takeo, Mutsumi Sugio, Shishin Kawamoto, Shin Tochinai	RIKEN CDB Symposium 2010	Regulatory Aspects of Asexual and Sexual Reproduction in *Enchytraeus japonensis* (Oligochaeta, Annelida)	March 2010

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Takeo M, Yoshida-Noro C, Tochinai S.	Int. J. Dev.Biol. / Functional analysis of *grimp*: a novel gene required for mesodermal cell proliferation at an initial stage of regeneration in *Enchytraeus japonensis* (Enchytraeidae, Oligochaete).	54(1), 151-160	Jan. 2010	UBC Press
Yoshida-Noro C, Tochinai S.	Develop. Growth, Differ./ Stem Cell System in Asexual and Sexual Reproduction of *Enchytraeus japonensis* (Oligochaete, Annelida).	52(1), 43-55	Jan. 2010	Wiley Blackwell

※ホームページ等での公開の（可・否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊･夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

平成 22 年度科学研究費基盤研究Ｃ「ヤマトヒメミミズ再生初期に幹細胞に発現する遺伝子ｇｒｉｍｐの機能解析」採択

（他の研究への発展）

平成 21-22 年度日本大学学術研究助成金（総合研究）「高次生命機能を指標とした新規有用化合物スクリーニング系の開発」の中の、「ヤマトヒメミミズ再生・生殖系を用いた個体再生・形態形成・有性生殖誘導効果スクリーニング系開発」への発展

（その他）

【別紙様式　8】

課題番号	高個08-001

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　２２　年　５　月　１８　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　佐　藤　睦　浩

所属・資格　東北高校・教諭

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	奨励研究／一般研究(個人)／一般研究(共同)／総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

IT を利用した高校物理の能動的授業実践に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
佐藤睦浩	日大工学部学術研究報告会	IT を利用した高校物理の能動的授業実践に関する研究	平成 21 年 12 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名	巻・号	年月	出版社・発行所

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　（下記のような成果があれば記入してください。）

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）

【別紙様式　8】

課題番号	高個 08-001

注：課題番号を記入してください。

平成２０年度　学術研究助成金成果物報告書

平成　22　年　5　月　18　日

日　本　大　学　総　長　　殿

氏　　名　佐　藤　睦　浩

所属・資格　東北高校・教諭

下記のとおり提出いたします。

1　種　目	奨励研究／(一般研究(個人))／一般研究(共同)／総合研究

注:該当する種目を○で囲んでください。

2　研究課題

IT を利用した高校物理の能動的授業実践に関する研究

3　研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

・研究代表者

・研究分担者（役割分担）

4　学会発表等　（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
佐藤睦浩	日大工学部学術研究報告会	IT を利用した高校物理の能動的授業実践に関する研究	平成 21 年 12 月

5　著書・雑誌論文　（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（可）否）　いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6　その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名　（朝刊・夕刊）	掲載年月日

その他（ビデオ，CD，シナリオ，写真，舞台等）

氏　名	提出物	内　容	数　量

7　その他の成果　**（下記のような成果があれば記入してください。）**

（知的財産権の取得）

（外部資金の獲得）

（他の研究への発展）

（その他）